鳥取県緑の産業再生プロジェクト(高知研修)視察報告書

緑プロによる 高知県の林業視察に参加

平成26年9月10~11日、鳥取県緑の産業再生プロジェクト協議会による林業先進地視察研修がありました。NP0からも職員が参加しました。

高知県の木材生産額は465(千万円)(鳥取県:152千万円)(平成24年度農林水産統計)、森林面積も80%を超える林業県です。日南町以上の山村地区もあり、急斜面地での施業が課題となっています。今回は作業現場にて実際に最新の設備を見学し、その導入について話を伺うものです。

香美森林組合様

高知県香美市に事業所があります。森林林業再生 プラン実施モデル地区に選定され、先進地林業機 械・改良事業に取り組んでいます。

今回はオーストリア製タワーヤーダー(ロープウェイ状にワイヤーを張り、斜面を引きずって集材する方法)の見学をしました。質疑応答の際には、林業の先進事例としての取り組みがメディアにて紹介されるにつれ、若い人の林業への関心が高まり、若年労働者が増えつつあるという話も伺いました。



高知県森林組合連合会様

高知県高知市に事業所を持ち、県内の約6割の原木の取り扱いをしています。来年度稼働予定の木質バイオマス発電への共同出資や、CLT(板の層を各々直交させる方向で接着した厚型パネル)建築推進協議会の事務局にもなっています。原木安定供給への取り組みや、バイオマス発電所への品質・価格面で安定した出荷などについてお伺いしました。

高知おおとよ製材株式会社様

高知県長岡郡大豊町に事業所を持ち、民間・県・町・地域の協力を経て平成25年度に完成した大型製材工場です。平成28年度には原木消費量10万立米を目指しています。大きな設備を持つ工場で、地域資源の最大限の活用を目指しています。CLT工法の社員寮も見学させてもらい、外見は鉄骨造りの建物と見まがうばかりのものでした。

今回、高知県の林業視察に行き、原木供給側も川下のユーザーが何を求めているのかを常に考えていく必要があることを実感しました。また、林業・中山間地が積極的に活性化に取り組んでいる現状を広く知ってもらう事もまた必要であると思います。視察に協力頂きました各事業所の皆様、ありがとうございました。